



学びの虹

東京都立鹿本学園 学校通信 令和4年9月1日号

東京都立鹿本学園

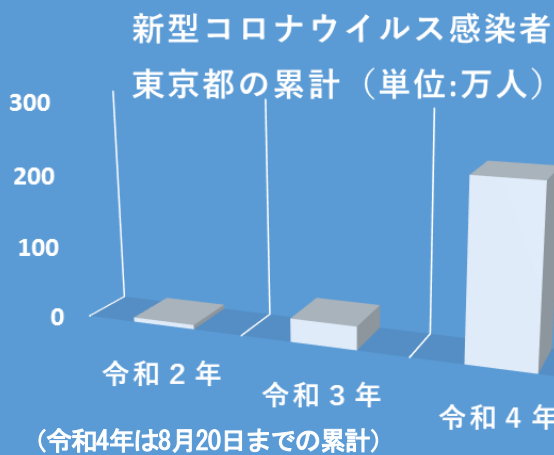
校長 高橋 馨

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

2学期が始まりました

長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。今年は3年ぶりの行動制限のない夏休みということで、楽しい計画を立てていた方も少なくなかったのではないのでしょうか。しかしながら、7月に入ってから新型コロナウイルス感染症第7波の猛威は凄まじく、東京都では1日の新規感染者数が4万人を超え、7、8月の2ヵ月だけで新規感染者の累計は100万人を超えてしまいました。2020年1年間の累計が6万人、2021年が38万人という数字と比較すると、感染を防ぐことの難しい状況が実感できます。また、猛暑や大雨による水害なども多く発生した夏でもありました。自然の力の大きさや怖さも改めて感じさせられました。



その夏を乗り越え、2学期が始まります。感染症対策を講じながら歩みを止めない社会活動と同様に、本校もリスクを測りながら、これまで制限してきた活動の再開や充実に取り組まなければならない段階にあることを感じています。2学期は9月中旬に実施予定のN中2の移動教室を皮切りに、両部門・各学部で宿泊学習が計画されています。学校としては3年ぶりの実施です。豊かな自然環境の中での体験活動を予定している学年もあります。感染症対策や各種の自然災害を想定し、必要な安全対策も含めた準

備を進めてまいります。また、2学期は授業参観や虹輝祭も予定されています。子ども達が目を輝かせて、課題や活動に取り組む姿、お子様の成長を御覧いただけるよう努めてまいります。様々な活動の再開に伴い、御家庭にお願いすることも少なくないと思います。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

DXの推進

GIGA端末は、日々の学習で道具として使われるほど活用が定着してきました。また、マイクロソフトのアカウントが割り振られたことで、『Teams』を活用したオンラインでの授業も円滑に実施できるようになりました。保護者の皆様もオンライン面談等の体験を通してDXによる変化を実感していただいていることと思います。そうした中、東京都では今年4月からは、特別支援学校を含む全ての都立学校の児童・生徒・教員を対象に画像や動画の加工をクラウド上で行うアプリ『Adobe Express』も使用できるようになりました。これにより、デジタルでの表現活動や情報発信は益々発展・充実していくことが期待されています。

こうした校内の変化、さらには、社会全体のDX・デジタル化の流れを意識し、更なる変化・発展のきっかけとなるよう、2学期から一層のペーパーレス化を進めていきたいと考えております。具体的には、配布するプリント類だけでなく、紙で回収していた様々な確認書やアンケート等も、デジタル化・オンラインによる回収としてまいります。これにより、回収や集計の効率化が図られると共に、紛失等の事故も防げると考えております。慣れるまでは、負担感が勝ることもあるかと思いますが、定着に向け運用の改善に努めながら進めてまいります。御理解・御協力くださいますようお願いいたします。

とうきょう総文2022

東京では初めてとなる、全国高校総合文化祭『とうきょう総文2022』が、夏休み中の7月31日～8月4日に開催されました。東京国際フォーラムで行われた開会式では、公募で集まった都内の高校生約40人によるミュージカル『6時間目が国語』が上演されました。中心となった3年生はコロナ禍が始まった年に入学した生徒達です。3年間の高校生活とコロナ禍が重なった生徒達が、どんなことに悩み、どんなことを考え、何をやってきたか、そして将来に向けて等、高校生の生の声や等身大の姿が、歌と踊りで力強く演じられていました。

第46回全校高校総合文化祭『とうきょう総文2022』では、開会行事や協賛部門を合わせ、全部で27の部門での発表や展示がありました。今回の東京開催での特徴的な取り組みの一つに、特別支援学校の関わり方があります。

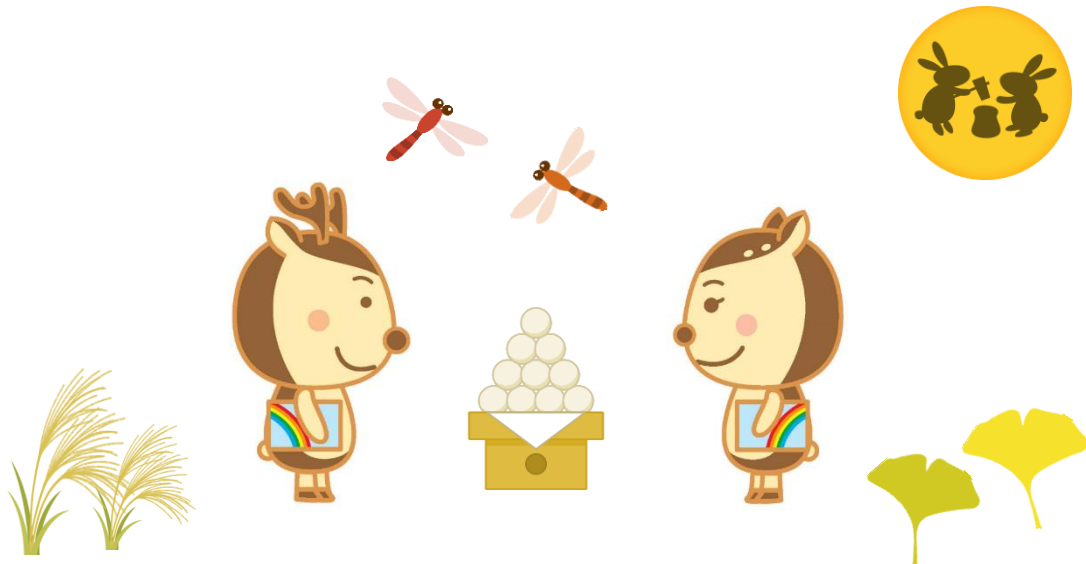
昨年度までは、特別支援学校として独立した部門があり、他の部門の高校生とは別に実施されていましたが、「とうきょう総文2022」では、各部門で特別支援学校の生徒も高等学校と一緒に参加する形で実施されました。特別支援学校の生徒が参加した11の部門で、高等学校の生徒と一緒に同じ会場で、発表や作品の展示を行い、9会場で特別支援学校の児童・生徒が取り組んだ生製品の販売が行われました。東京都の特別支援教育推進計画の重点に示されているインクルーシブな教育を進める取り組みが、多くの方に伝わる機会となりました。

この「とうきょう総文2022」の発表内容は、現在もオンラインで視聴することが可能です。是非御覧ください。

■検索（とうきょう総文）→公式HP

■検索（6時間目が国語）→YouTube配信

鹿本学園校長 高橋 馨



宿泊防災訓練をふりかえって

S部門 中学部

1年生を対象に宿泊防災訓練を行いました。当日は小岩消防署の消防士が来校し、防災の話や実技を交えて生徒、教員にレクチャーをしていただきました。

最初に、地震が起きた時の適切な行動をクイズ形式で生徒に質問しました。グループに分かれて答えを1つ導き出す時には、悩みながらも一生懸命考えている様子が印象的でした。正解すると喜ぶ生徒、間違えてしまって悔しがる生徒など防災教育を学ぼうとする意識が見られました。2番目は救急対応訓練。毛布を使い、負傷者を運ぶ訓練です。安全面の配慮から生徒が活動することはできませんでしたが、教員が毛布の上に乗る、毛布の端を4人で持ち教室から職員室前まで運びました。「思ったより重い!」「4人でも運ぶのは厳しい!」など教員にとっても良い経験となりました。最後は就寝訓練、救急対応訓練としてランタンの電源スイッチを押して明かりをつけ、さらに全員で手回し式ラジオを聞きました。一生懸命皆でレバーを回したものの、すぐにラジオは電源が切れてしまいました。日常生活で当たり前のようにラジオを聞けるありがたみも同時に学ぶことが出来ました。

今回の宿泊防災教育を通して、生徒が災害をイメージしたり、経験したことのない訓練をしたりすることで、災害時の不安を少しでも軽減できたらと感じました。

S部門 中学部 宿泊防災訓練担当 田中 聡

N部門 中学部

7月1日(金)に宿泊防災訓練を行いました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から宿泊は行いませんでしたが、就寝訓練などを行い、学校に泊まることを想定した活動に取り組むことができました。消火訓練では、消防士の方から「ピン」「ホース」「レバー」の順番で消火器を扱いましょうと教えていただき、生徒たちは大きな声で「火事だ!!」と言って、水を出すことができました。また、実際の消火器は消火剤が出るというお話も聞くことができました。

AED体験では、倒れている人に心臓マッサージをして、AEDを使うという訓練を行いました。心臓マッサージは、心臓が動いている人には行わないことや、1セット40回テンポ良く行うことなどを教えていただき、生徒全員が人命救助を想定した訓練に真剣に取り組むことができました。

就寝訓練は、実習室で①マット2枚②板段ボール1枚③ペットボトル6本④毛布1枚を使用して簡易の就寝場所を作ることができました。事前学習でも練習していたので、作り方を覚えていた生徒は積極的に動いて活動することができました。

事後学習は、その日の午後に行い活動を振り返りました。消防署の所長からは、いざというときに備えて今回の練習が活かせるようにしましょう、という講評をいただきました。

N部門 中学部 宿泊防災訓練担当 桑原 昌彦

社会見学へ行ってきました！

【国立科学博物館】S部門 小学部 C学習グループ(2.5.6年)

7/5 (火) 担当：赤津 公子

事前学習でバーチャル館内見学を体験し、「恐竜の骨がみたいな」「えー！ミイラもあるの！こわいな・・・」など思いをふくらませて迎えた当日。実際に見学すると「わー本物はこんなに大きいんだ！」「すごい！」と驚きの声の連続でした。また、持参したタブレット端末で目を輝かせながら自分が気に入った展示物の写真を撮り、事後学習ではスライドショーにまとめてプレゼンテーションも行いました。知的好奇心が大いに刺激された楽しいひとときでした。

【アクアシティお台場】S部門 中学部 A学習グループ

7/8 (金) 担当：細谷、向川

中学部生活3年目にして初めての校外学習となり、事前学習からどの生徒も期待感をもって学習に取り組むことができました。昼食場所は、施設内にある「エッグスシングス」を利用し、スタミナ満点のロコモコ丼や山盛りのホイップクリームが添えられたパンケーキを美味しく頂きました。撮影タイムでは、レインボーブリッジを背景に集合写真を撮り、天候にも恵まれ友達との楽しい思い出がまた一つ増えました。

